

ニュージーランド移住&生活 Book

## New Zealand Migration Method



**Premier Life**

## ■ 著作権について ■

### 「NZ 移住 & 生活マニュアル」

(以下、「マニュアル」と表記)は、著作権法で保護されている著作物です。

マニュアルの使用に際しましては、以下の点にご注意ください。

- ・「マニュアル」の著作権は、オフィス・プレミアライフに属します。
- ・著作権の事前許可を得ずして、マニュアルの一部または全部を、あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、ビデオ、テープレコーダー及び電子メディア、インターネット等）により、複製及び転載することを禁じます。

## ～ 使用許諾契約書 ～

### 第一条 目的

この契約書は、本マニュアルに含まれる情報を、本契約に基づきあなたが非独占的に使用する権利を許諾するものです。

### 第二条 一般公開の禁止

本マニュアルに含まれる情報は、著作権法によって保護され、また匿名性の高い内容であることを踏まえ、あなたは、その情報をオフィス・プレミアライフとの書面による事前許可を得ずして出版及び電子メディアによる配信等により、一般公開並びに転売してはならないものとします。

### 第三条 契約解除

あなたがこの契約に違反した場合、オフィス・プレミアライフは、何の通告もなく、この使用許諾契約を解除することができるものとします。

### 第四条 損害賠償

あなたが本契約の第二条の規定に違反した倍、あなたは本契約の解除に関わらず、直ちにオフィス・プレミアライフに対して、違反金として、違反件数と販売価格を乗じた価格の10倍の金額を支払うものとします。

### 第五条 その他

本マニュアルは、あなたが行うコミュニケーション活動における健全化を目的としておりますが、期待通りに結果が得られず、万一如何なるトラブルが生じた場合においても、オフィス・プレミアライフは、その結果に責任を負うものではありません。

## はじめに

**海外移住は、思ったほど大変ではない！**

私たち家族がニュージーランド（以下 NZ）に移住してきて、2年が経過しようとしています。

英語もロクに話せなかった私たちが、憧れだった移住を行動に移した時は、実は、不安の方が大きく、渡航日が近づくにつれ、眠れない日々が続きました。

「私たちは、憧れだった前人未踏の地へ降り立とうとしている。」  
そういう期待よりも不安の方が大きかったのです。

あれから2年・・・

私たちはNZでの生活を満喫しながら、家族4人で楽しく暮らしています。

本当に、ここは楽園です。

時間、自然、空間、全てに対して余裕があり、  
これこそが本当の豊かさだったのかと、心から感じる毎日を過ごしています。

最初は、戸惑うことや大変なこともありましたが、やはりここは先進国、  
慣れてしまえば、シンプルな分、日本よりも楽です。

ただ、知り合いもツテもなく、自力での移住でしたので、最初は精神的に大変でした。

英語も話せなかったので、「一体どうすればいいのかしら・・・」  
そう思うことが度々ありました。

“案ずるより、産むが安し”とありますが、

何のトラブルが起こらなくても、先の事を心配するあまり、  
精神的に参ってしまう移住者は多いようです。

私たちの場合、子どもを連れての移住でしたので、  
ワーホリ等でやってくる人達よりも、心配事はさらに大きなものがありました。

これから、NZへの移住を考えている方も

- ①就労ビザはどうしよう
- ②日本からの引っ越しはどうしよう。
- ③車はどうやって持っていこうか・・・
- ④電気製品は使えるのか、等々・・・

様々なことで頭を悩ませているのではないのでしょうか？

私は、これからNZへの移住を考えている人達に、というよりは、  
**2年前の私たちのために、この移住マニュアルを書き上げました。**

このマニュアルがあれば、私たちはどんなに楽だったろうか・・・と、今でも思います。

- ・買い物はどこですか？
- ・ゴミ出し日はいつなのか？
- ・電気代や水道代はどうやって支払うのか？
- ・子どもの学校の手続きは？
- ・電話やインターネットはどうやって契約するのか？
- ・保険はどうやって加入するのか？
- ・事故にあったらどうすればいいのか？

そんなあなたのお悩みを、このマニュアルにすべて封じ込めました。  
2年間かかって書き上げたマニュアルですので、我ながら重みが違います（笑）

実は、海外移住なんて、英語ができなくてもできるし、  
思ったよりも簡単なんです。

迷っていないでまずは読んで下さい。

全ての悩みは解決します。

あなたのNZ移住が、スムーズにいきますことを心からお祈りしています。

## 目次 (Index)

※ 今回は、ダイジェスト版のため、  
マニュアルの一部のみ収録しています。

移住 (引っ越し) 編	...
ビザ 編	...
生活 編	...
NZ 経済の中心地、オークランドの地理編	...
パソコン・電話編	...
電気製品編	...
学校 編	...
医療 編	...
語学 編	...
その他	...



# ～ 生活編 ～



～ NZ生活に関する簡単な基礎知識 ～

**3つのキーウイ**

NZには、3種類のキーウイがあります。

- ① NZの国鳥・キーウイバード
- ② NZの果物・キーウイフルーツ
- ③ NZ人の愛称・呼称

**NZの家賃と賃貸事情（フラットメイトシステム）**

NZでは、週ごとに家賃を払うシステムが主流です。

日本では月ごとが通常なので、はじめのうちは戸惑うかもしれません。

また、1軒の家に数人が共同で住む「フラットメイトシステム」という居住形態が若者の間で主流になっています。

**凄い量の紫外線！**

NZは、年間を通して紫外線が強く（日本の約7倍だといわれています）特に夏場は、日焼け止めクリームやサングラス、帽子の着用は欠かせません。

夏場は、ちょっと草むしりをしただけで首が真っ赤になるほど、焼けます。

**フロアの数え方**

建物の階数の数え方は、日本でいう1階を「グランドフロア」といい、2階が「ファーストフロア」といいます。住所に「1F」と書いてあっても、それは2階を意味します。

**スケボーで登校**

1年を通じて、裸足で外を出歩いている人が多いです。

開放的なお国柄のNZならではの光景です。

また、映画「バックトゥ・ザ・フューチャー」のようにスケボーやローラースケートで学校へ通う姿も見られます。

**移民の文化**

毎年、人口の1%の移民を受け入れているNZでは、とにかく様々な民族がいます。

最近では、中国やインドからの移民も多く見られます。

**NZのコーヒー**

NZでは、フラットホワイトという独特のコーヒーが一番人気です。

エスプレッソコーヒーの上に、泡立てた牛乳を乗せ、クリーミーな味わいを出しています。泡立てた牛乳の上部が平らなので、フラットホワイト。

**ビール大好き**

NZ人はビールが大好きで、おつまみも食べずにビールのみをグビグビ飲みまくりです。

凄い量のビールを飲み、ラグビーの試合がある日などは店のビールが切れることも・・・

## 裸足で外出

NZ では、夏、裸足で外を出歩いている人が多いです。

開放的なお国柄・NZ ならではの光景ですが、中には学校に裸足のままでやってくる生徒もいます。

ここら辺が、服装などの見かけにこだわらない NZ 人の面目躍如といったところでしょうか・・・



## 雨中に放り出される洗濯物

驚いた事に、NZ の人々は、洗濯物を外に干している最中、いきなり雨が降ってきても、室内に取り込もうとしません。

「おい！雨が降ってるぞ！」と言っても  
「また晴れたら、その時に乾くからいいんだよ」  
と取り合いません・・・

この人達って、一体・・・



## 夏時間と冬時間

NZ では、9 月下旬から 4 月上旬までの半年間は、**夏時間**と呼ばれ、日本との時差は 4 時間です。

4 月上旬から 9 月下旬までの半年間は**冬時間**となり、日本との時差は 3 時間となります。

日本には全く馴染みのない文化ですので、最初はビックリしますが、時期が来ると、時計の針を進めたり遅らせたりする必要があります。

	夏時間	冬時間
New Zealand	午前 9 時	午前 9 時
日 本	午前 5 時	午前 6 時
時 差	4 時間	3 時間

## ニュージーランドの気候

ニュージーランドは温帯の国で、年間の気温差が比較的小さい、温和な気候といえます。

日本と同じ様に南北に長いため、地域により気候の差があります。

※例えば、北海道と九州のように

南半球ですので、南の方が寒く、北に行くほど暖かい気候になります。

NZの気候の特性として「1日の中に四季がある」とよく言われますように、1日の天気や気温の変化が大きいです。

天候の変化に備え、常に車の中に上着等、準備しておくといわれます。

オークランド（北島）の平均最高気温は18.6度、平均最低気温が11.8度で、クライストチャーチ（南島）の平均最高気温は16.2度、平均最低気温は6.7度です。

先程もお話ししましたが、ニュージーランドは南半球にありますので季節は日本の逆で、12～2月が夏、6～8月が冬となります。

夏（12～2月）は雨が少なく、さわやかで、夜は9時くらいまで暗くなりません。

オークランドでは、30度を越すこともたまにありますが、湿度が低いのでしのぎやすく、夜は涼しくなります。

冬（6～8月）は、若干寒くなり、雨が多くなります。

日本ほど極端に四季の移り変わりによる温度変化は大きくありません。

暑さと寒さがなだらかに交代していくような感じです。

ただ、年間を通して1日の気温差が大きく、天候も変わりやすいです。

## NZの人々

NZの人々は、全体的にフレンドリーで道端で会う人、誰にでもあいさつをします。

「ハイ！」とあいさつすると、「ハイ」と返す人。

手を挙げて笑顔で返す人、ウインクする人、様々です。

私が見る限りでは、アメリカ人のような、攻撃的な性格の人は、ほとんどいません。

また、島国独特の内向的でシャイな民族性で、アピールー辺倒の西洋文化とは、ちょっと違います。

ただ、西洋人独特の合理主義的な部分を持ち合わせており、

- ・ 服にお金を使わず、
- ・ 車や不動産にも無頓着（乗ればいい、住めればいい）、
- ・ 仕事やお金よりも、趣味や自分の時間（ライフスタイル）を何よりも大切にする。
- ・ のんびりとした国民性です。

NZという国を一言でいうと、「金欲のない資本主義社会」です。

債券や証券、為替といった、複雑な経済形態ではなく、農業や畜産等、第一次産業が経済の中心であったり、

日本なら、空き地や公園をすぐに潰して、宅地にして売り出しますが、NZは、公園やビーチがいっぱいで、木々や空間を大切にするといった感じで、お金を価値観の中心に持ってこない文化です。

お金が全てではなく、

お金は、ライフスタイル、時間、仕事のやりがい等、価値観の中のひとつという感じを受けます。

だから、心に余裕があり、ゆとりのある民族性なのだと思います。

休みは、“バケーション（ホリデー）”という、長い休暇を取ることができます。

週末には、必ずどこかに遊びに行くのが文化として根付いています。

また、時間はありますが、薄給な国ですので、お金を使わずに遊べる知恵や施設が盛りだくさんです。



ゴルフは1ラウンド、ビジターで30～50ドルで、とても広いゴルフ場を使ってプレイできます。

テニスも、テニス教室は毎週土曜日で、年間150ドルで通えます。

公園の中には、BMX用のクロスカントリーやスケボー場が、あちこちに設置されています。



美しいビーチも至る所にあり、芝生の公園と隣接させているので、休日には沢山の人がサーフィンや海水浴にやってきます。

「山に行くぞ!」「海に行くぞ!」と思いつけなくても、豊かな自然が日常の中にあり、生活の一部になっているような感覚です。



また、ゴルフ場の隣には、天然の山をそのまま利用した遊歩道などがあり、森林浴を楽しみながら散歩をする方が沢山います。

NZのシンボルであるシダや沢山の木々がふんだんにあり、小鳥のさえずりに包まれて、大変気持ちの良い時間です。



不動産は、大体が木造でシンプルな造りですが、庭付きの広い物件が多く、皆、のんびり& ゆったり暮らしています。

また、NZでは、犬を飼っている家庭が多いことが特徴の一つにあります。

公園やビーチに犬を連れて散歩に行く家庭が多いのですが、しつけが行き届いており、人に噛みついたり、犬どうしでけんかする光景は、まず見かけません。

どうやってしつけをしているのか、大変興味があるので聞いたところ、犬が産まれたら、または飼う前には、必ずドッグトレーニングといわれる、犬の「しつけ教室」にワンちゃんを預けるそうです。

広い公園やビーチでのびのびさせていますので、犬もストレスがないようで、常に落ち着いています。

移民の国ですので、様々な人種が入り乱れていますが、そのため、人種差別もほとんどありません。

しかし、日本人が言うところの「あ・うん」が分からない、つまりは空気が読めない人が多く、いいたいことはズケズケ言ってきます。

また、英語初心者だからといって、英語をゆっくり話してくれる等の気遣いはほとんどありません。

NZのお店は、大体5～7時には閉まります。ライフスタイル優先のお国柄ですので、早めに仕事からあがります。

仕事が8時間労働とキッチリ決まっていますので、早寝早起きのライフスタイルが根付いています。

学校は9時から始まりますので、朝もゆっくりです。



～ ブラウンズベイ ～

### 生活用品を安くで買い揃える方法

基本的に生活必需品は日本から持って行くので、買い揃えるのにそれほどのお金はかかりませんが、やはり、できるだけ安く済ませたいものです。

ノースショア付近で、色々なお店に入りましたが、以下の5つはお薦めです。

ちなみにレジに商品を持っていく際に、笑顔で「少しまけて (little discount OK ?)」という、さらにまけてくれることが多いです。

これは、NZ で買い物をする際のトップシークレットだと思います。

※私たちは、買い物は基本的にグレンフィールドの「ワイラウパーク」という、ショッピングタウンですませています。

### ～簡単な身の回りの品～

#### ○1・2・3ドルショップ

日本でいう100円ショップ。安価で何でも売られており、どこにでもあります。

### ～家具～

#### ○レッドパス (Redpaths)

Unit19/18 LinkDrive, Wairau Park, Auckland Tel:09-443-8518

台湾人が経営する家具屋。ロープライス・ハイクオリティなものが多いです。

NZは不動産ビジネスが盛んな為、家具屋は多いです。

ここ以外でも、展示品一斉処分などやっているの、たまに見に行くと良いでしょう。



### ～服～

○安服屋の代表は、ウエアハウスです。これもどこにでもあります。

基本的に NZ 人 (キーウイー) は、着ている服に無頓着で、お金持ちでもヨレヨレの服を着ていることが多いです。合理主義者の西洋人らしい発想です。

### ～家電製品～

#### ○ハビーノーマン

私は、ノースショアにある、ショッピングセンター・ワイラウパーク内にある家電屋・ハビーノーマンを使っています。ここの家電屋は、先程の「少しまけて (little discount OK ?)」で購入できなかったことはないです (笑)



### ～ホームセンター～

#### ○メガハウス

ホームセンター (東急ハンズのようなお店) なら、ワイラウパークの近くにあるメガハウス。凄く大きな店舗で遠くからでも確認でき、すぐ分かります。何でも揃っており安い。



～その他～

○ミルフォード・ショッピングセンター

日本でいう総合スーパーのようなところで、手頃な値段で、何でも置いてあります。



○ジャパンマート

日本の食材だけを専門的に扱っているジャパンマート、商品は、日本製のものばかりで大変落ち着きます。ただし、高い！

ジャパンマート 435 Khyber Pass Road New Market , Auckland Tel 09-377-2226



～外観～



～店内の様子～



○生活良品

ワイラウパークのリンクドライブ内に、生活良品（日本の100円ショップ）があります。

しかし、値段は日本の2～3倍！

日本では100円のもの、ここでは3～4\$で売られています。

あり得ないくらい高いです！

日本が恋しいワーホリの人達が購入していきませんが、凄く割高なので、私は、あまりここでモノを買わないようにしています。



○書類のコピーについて

コピーをするなら、ワイラウパーク内にある

「ウェアハウス・ステーションナリー」の  
コピー機を使用するのが一番安価です。

5～10ドルくらいのプリペイドカードを購入し、コピーします。

A4 1枚で7セント（約4～6円）です。

早くて、安くて、コピーに関しては、最も優れたサービスであると思います。



### 食料品の調達について

NZのスーパーは割高であるため、

基本的に食材は、八百屋、肉屋、魚屋、果物屋のような所で購入の方がよいでしょう。その中でも以下の2つはお薦めです。

○チャイニーズショップ・太平（タイピン）

※右写真 15 Pearn Pl. Northcote Shopping centre



○アジアンショップ・リンクドライブ

※ワイラウパーク内、写真右下



基本的に NZ は薄給で、しかも中国からの移住者が多いので、それらの人々に安くで食材を提供するチャイニーズショップというところがあります。

ここには、NZで暮らす中国人の為に、中国本土から野菜や食材が送られてくるシステムが構築されており、NZでは採れない、日本に馴染みの深い野菜や食材も安価で置いてあります。

～ タイピン ～

具体的にいうと、もやしや豆腐、白菜、納豆などもここで購入できます。

中国産の餃子も食べてみましたが、全く問題ありませんでした！



～ リンクドライブ ～

また、韓国人が経営するコリアンショップもあちこちにありますが、韓国人は日本人と食や味の嗜好がそっくりですので、肉や魚、お菓子等、様々な必需品が置いてあり、重宝します。

NZでは、どこを探してもひじきがありません。ひじきは輸入禁止だということです。NZ産の椎茸は、美味しいけど、傘の裏側が黒い椎茸ばかりでびっくり！

基本的に NZ のスーパーで売っているキノコ類は、西洋椎茸とマッシュルームのみです。中国系のチャイニーズショップに行くと、椎茸やえのき、ひめたけ（らしきもの）が売っていますが、しめじはありません・・・

また、ジャパンマートで売られている「秋田小町」や「ひとめぼれ」でさえ、中身はカリフォルニア産であると知って驚きました。

男性は、それほど違いはないといいますが、主婦の味覚は敏感で（笑）、香りや舌触りが若干違います。

## NZの魚屋

NZでは、日本ほど魚を食べる文化が浸透しておりませんが、先程紹介した太平（タイピン）や韓国人が経営する魚屋には、日本人に馴染みのある魚がたくさん置いてあります。

太平（タイピン）の店内は正直、魚臭くてたまりませんし、赤鯉などが食用として売られており、日本と中国の食文化の違いを感じさせられます。



～ タイピンの店内 ～

ただ、魚は確かに安いし新鮮ですので、私はここによく買いに行きます。息子は、あまりの魚臭さに鼻をつまんで買い物に付き合っています（笑）。

ここに行くと、昔旅行で行った、ベトナムの魚市場を思い出します。

オークランド港の近くにあるフィッシュマートは、お洒落な魚市場で、マグロや鮭など、魚の種類も豊富にあり、ラインナップが充実しています。



～ フィッシュマート ～

驚いた事に NZ では、日本では雑魚である「ボラ」が高価で売られています！

※1匹 10ドル前後

また、「エイ」が当たり前のように展示棚に置かれていたのには、ビックリしました。

意外だったのは、キウイーはウナギが大好きで、フィッシュマートの水槽には、沢山のウナギがワラワラと泳いでいます。

NZでは、「鮭」が最もポピュラーな魚で、切り身があちこちで売られています。



～ フィッシュマートの店内 ～

## フィッシュマート

Jellicoe St, Viaduct Harbour Auckland

Tel : 09-303-0262 HP : <http://www.fishmart.co.nz>

## NZでの買い物の仕方、エフトパス（デビットカード）について

NZでは、自分の銀行口座（当座預金）にお金を入れておけば、その銀行カードでどこでも買い物ができるエフトパス（日本でいうデビットカード）という買い物のシステムが一般的です。

NZ内は、どんな田舎でもエフトパスのシステムだけは標準に装備されています。ノーキャッシュの世界なので、レジの釣り勘定等にかかる時間が短縮されます。



※左は銀行のカード、右がエフトパス用のキャッシングマシン

## エフトパスでの買い物の仕方

### キャッシングマシンの

- ① 左上にあるチェックボタン（CHQ）を押し、
- ② 4桁の暗証番号を打ち込み
- ③ 右下の緑色のエンターボタンを押すと、レジが成立します。

PS クレジットカードで買い物をしたい場合には、左上のチェックボタン（CHQ）の代わりに右上のカードボタン（CRD）を押して、以下②③のオペレーションをお願いします。円高の時には、日本のクレジットカードを重宝してます（笑）。

## 水道や電気代、ガス料金は？

電気代や水道代、ガス料金に関してですが、電気は、各地域の電気会社に電話して、〇月〇日から入居した、△△ですという連絡をする必要があります。

そうすると、約1ヶ月後には電気料金の明細が届きます。

明細が届いたら、郵便局（New Zealand Post）に行き、お金を振り込む必要があります。



もちろん、エフトポスで対応することも可能です。

水道代は、手続き等しなくても固定資産税のような「水道税」という形で、各地方自治体から約2ヶ月ごとに水道料金の明細が届きます。

対処は上と同じで、郵便局に持っていけばOKです。

銀行からの自動引き落としにするためには、自分が口座を持っている銀行に行って、自動引き落とし用の書類に記入する必要があります。

また、NZは基本的にオール電化ですので、ガス代は掛からないのですが、地域によっては、都市ガスに対応している所（マヌカウやアルバニー等）もあるので、上記のように自宅に届いた明細書を持って、郵便局で払い込むか、自動引き落としの処理をする必要があります。

※ 電話代も基本的に同じです。

これらの手続きは、移住して来て、いきなり必要ですが、どうして良いか分からず、面倒で頭が痛いものです。

電話やインターネットの接続については、パソコン・電話編で詳しく説明させていただきます。

NZは市内の固定電話は通話料が無料ですので、大変助かります。

私の場合、オークランド市に住んでいるので、オークランド市内の通話料は無料です。

## ゴミについて

NZは住む地域によって、ゴミ出しの日が異なっているため、その地域の指定するゴミ出しの日を確認する必要があります。

※ 近所の人に聞くといいでしょう。

燃えるゴミに関しては、近所のスーパーで、オレンジ色の「燃えるゴミ専用袋」を1パック（7枚）8ドルで購入し、毎週指定日に家の前に出すことになっています。



ビンやカン、燃えないゴミに関しては、自治体から、専用のボックスが各家ごとに配置されていますので、（右写真参照）それにビンやカンを入れて、指定日に出しておきます。



トラックがやってきて、中身だけ回収していきます。

ちなみに私が住んでいる、ノースショア地区は、毎週木曜日がゴミの日です。

ビンやカンは、2週間に1回、木曜日に回収してきます。

右の写真は我が家のゴミです。



## 郵便局での対応

### 日本との手紙のやりとりについて（エアメール）

FAXにて手紙のやりとりをするのが、お金もかからず、早くて便利ですが、写真等を入れた手紙（エアメール）を日本に送りたい場合には、以下の手順で送付します。



〒100-0123    ○○県△△市○○町1番地    山田太郎様

①上記のように宛先を日本語で書き、

②封筒の下に「Par Avion」という青いシールを貼ります。（下の写真参照）

※このシールは郵便局に置いてあり、「Par Avion Air」と印刷されているかもしれません。

③そして「Par Avion」のシールの横に「Japan」と書きます。

Japan と書けば、あとは全て日本語書きで OK です。

切手代は、一番小さい封書だと2ドル、A4版ですと3ドルかかります。

※ 非常に重たかったり、品物が入っていたら NG ですが・・・

封筒は、20セントくらいで郵便局に売っているので、それが安価でいいです。

速達の場合は、別途郵便局で定型用紙に住所等を書く必要があります。



## 日本への荷物の送付について

段ボールに荷物を詰めたら、郵便局に行き、右下の書類をもらいます。

①左側上の空欄に日本の住所を英語で記載します。

②左側中の空欄に自分の NZ の住所を英語で記載します。

③そして、荷物と一緒に提出します。



速達便（4日くらいで到着）と  
通常の便（1週間ほどかかる）があります。

日本の住所を英語で書く場合、県市町村の順序ではなく、反対の村町市県の順番で書きます。

例) 宮城県 仙台市 美里町 1-12の場合、  
1-12 Misatoyou Sendaicity Miyagi Japan

## 銀行での対応

銀行口座を開設するには、就労ビザとパスポートを銀行に持っていけば、  
銀行員が対応してくれます。

私の場合、NZの旅行ツアー中に口座を開設しました。



～ ANZ 銀行 ～

① I would like to **deposit** my money. (デポジット)  
お金を入れてもらえませんか？

② I would like to **widrow** my money. (ウイスドロウ)  
お金を降ろしてもらえませんか？

③ I would like to send my money to ~.  
～にお金を送りたいです。

④ Could you print out all my present account balance ?  
現在の全ての口座の残高を印刷してもらえませんか？

この4つを覚えておくと、とても便利です！

## 日本からの荷物はEMSで！

日本を離れると、日本の食品や本、CDなどが恋しくなります。

日本の家族から荷物を送ってもらう際には、日本郵便（旧郵便局）の、国際スピード郵便（EMS）経由で荷物を送ってもらうとよいです。

※EMS・・・Express Mail Serviceの略。

このEMS、「安い、速い、便利」と3拍子揃った、最高のサービスです！

- ①安価なサービス
  - ②多くの国・地域へ数日から1週間以内で届く迅速さ
  - ③配達状況の追跡調査が可能な便利さ
  - ④損害賠償制度があること
- が、売りです。

特に、③の追跡調査については、日本郵便が発行してくれた13桁のお問い合わせ番号を、以下のサイト右側にある「EMS配達状況のご確認」に入力し、ボタンを押すだけで、荷物がどこにあるのかが一目で分かる、便利な機能が付いています！

→ <http://www.post.japanpost.jp/int/index.html>

今、自分に送られてくる荷物が成田空港なのか、オークランドなのか、はたまた飛行機の中なのか、一目で分かるよう、検索画面に表示されます。

大変優れたサービスだと思います。



～ 日本から届けられた食料品の数々（涙）～

## NZの娯楽事情

NZで最も盛んなスポーツは、いうまでもなくラグビーです。

NZは、世界ラグビーの聖地といわれるだけあって、底辺層も広く、各公園には必ずといっていいほど、ラグビーのゴールが設置され、大人から子どもまで、ラグビーを楽しんでいます。

次は、クリケットとネットボールの2つです。

特に女性は、ネットボールという、バスケットボールとハンドボールを組み合わせたようなスポーツが盛んです。

一口で言うならば、ボールをキャッチできるバレーボールとでもいいでしょうか。



～ ネットボール ～

驚くことに、日本やアメリカでは全く馴染みのない、この古典的なスポーツにプロがあり、起業もスポンサーに付いています。

ラグビー、クリケット、ネットボールのプロは、子ども達の憧れとなっており、各日曜日には、学校の運動場で子ども達がスポーツに興じています。

最近では、ワールドカップの影響もあり、サッカーも盛んになってきているようです。



～ クリケット ～

プロと言えば、競馬なのですが、こちらでは競馬の代わりに

「馬車馬レース」や「ドッグレース（競犬）」が盛んです。

馬に馬車を引かせて、そのスピードで優劣を競い合う「馬車馬レース」は、最初見た時には、相当な違和感がありました。

また、馬の代わりに犬を走らせる「ドッグレース」も最初はビックリしました。

所変われば、品変わるといったところでしょうか・・・

## 両替について

日本円を NZ ドルに両替（エクスチェンジ）する場合、  
「KVB」という会社を利用するのがお勧めです。

銀行などで両替すると、手数料を取られ、損をしますが、  
ここで両替すれば、手数料が無料なので、  
普通の銀行で両替する場合に比べて、約3円違います！

私は、日本円を NZ ドルに両替する時には、必ず「KVB」を使います。

電話も日本語による対応で安心ですし、  
窓口には、貫松さんや鈴木さんといった、日本人スタッフが常駐しています。

また、主要 10 通貨の取り扱いに対応していますし、  
リアルタイム流動レートなので、良いレートを逃がしません。

そして、円や NZ ドルの送金にも対応しています。

## KVB Kunlun New Zealand Limited

Level 10, The National Bank Tower  
205 Queen Street , Auckland 1001  
※スカイタワーの近くにある、  
ナショナルバンクビルの 10 階にあります。

Tel : 09-359-8986 （日本語直通）

Fax : 09-359-8989

Email : [jp@kvbkunlun.com](mailto:jp@kvbkunlun.com)

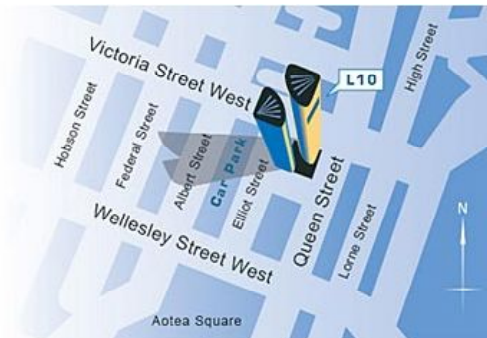
（日本語でお問い合わせ下さい。）

営業時間： 月曜日～金曜日（土・日・祝日休業）

午前 9:00 ～午後 5:00 （現地時間）

HP は、こちらをご覧ください。

→ <http://www.kvbkunlun.com/jp>



## NZの交通事情 1

基本的にニュージーランドは日本と同じで、右ハンドル・左側通行になっておりますので違和感なく運転できます。

NZでは右折車優先で、まず右折車を先に行かせることに驚きました。  
合理的で、かえって車はスムーズに流れています。

右折時のルールについて簡単に説明しますと、日本では対向車線が左折車のみの場合、その左折車がまず優先となり右折車は後ですが、ニュージーランドではこの場合右折が優先となり、対向の左折車が待たなくてはなりません。※説明が複雑ですみません（汗）

また、お金がかかる信号機を設置したくないNZ政府は、信号機の代わりにロータリを設置することで対応しています。



ロータリーは、こちらではランダバードと呼ばれています。

（正確にはラウンドアバウト、Round About）

ランダバードは、一時停止後に進入し、進入したら、優先となります。  
つまり、ロータリーを回っている車の方が優先ということになります。

NZは、道幅が広いため、皆、車を飛ばします。  
景観が良く、道も広いため、ドライブは快適です。

NZでは郊外に出ると制限速度は時速 100km ですので、どうしても飛ばして走る傾向がありますが、速度に対する感覚が麻痺してきますので、安全運転を心がけてください。

景観ですが、都会のオークランドでもあちこちに大きな公園があり、NZ 政府が自然を大切にしている様子が伺えます。

ゆっくりと時間が流れる NZ では、皆が歩行者を大切にし、横断歩道のないところでも、歩行者を優先して横切らせます。

また、身障者用の駐車スペースは、必ずといっていいほど空いています。  
身障者、子ども、お年寄りなどの弱者を大切にするモラルが行き届いています。

中古車価格は日本よりかなり高いと感じました。

NZでは、日本車が沢山走っていますが、10年落ちくらいのもので結構な値段がします。

### NZの信じられない交通事情

NZは、駐車違反には大変厳しいのですが、飲酒運転には大変甘い国です。

飲酒運転など日常茶飯事で、いちいちお酒を飲んでいるかいないかの検査など行いません。

私もこれまで、そのような検問は受けたことはありませんし、NZに5年住んでいる友人も一度も受けたことがないと言っていました。

それから、これは聞いた話なのですが、こちらの法律は「ジョッキ1杯までなら飲んで運転してもOK」ということなのだそうです！！



一体、どうやって「ジョッキ1杯」という具体的なアルコール数値を調べるのか・・・NZ最大の謎です・・・

### NZのガソリンスタンド

NZのガソリンスタンドは、全てセルフサービスとなっており、自分でガソリンを入れます。

ガソリンを入れたら、入れた場所の番号を店員さんに言えば、精算してくれます。

※例えば、左の写真なら「1番」右の写真なら「4番」となり（赤丸参照）、係員には、「No. 1 please」「No. 4 please」と言います。



※ちなみにこちらでは、ガソリンのことを petrol（ペットロール）と言います。

### 自動車保険について

後述するワーホリセンターで「nac」という自動車保険会社と契約するのがベストです。

→ <http://www.nac.co.nz/about.php>

ワーホリセンターを経由すれば、契約も日本人スタッフの仲介の元に、手続き上のアドバイスをしてくれますので、安心です。

### NZの車検と車税

NZでは、1年に1回、車検を受け、車税を支払う必要があります。

日本で車検というと1週間ぐらいの時間を要し、費用も15万円近くかかりますが、こちらでは自動車の修理工場で、10分程度の点検で25ドルです。

車検に通ると、「車検を通過しましたよ」という旨のステッカーを車のウインドウに貼ってもらえます。

車税は、陸運局（Land Transport NZ）から封書が送ってきます。

それをもって郵便局（New Zealand Post）に行き、支払いを済ませます。

車税は、1年分と半年分のオプションがあります。

1年分で約200\$、半年分で約100\$です。

車検を行う際には、ノースショアのグレンフィールドにある、「JVS」をお薦めします。戸崎光弘さんという日本人が経営する、親切な修理工場です。

修理工場のスタッフさんも日本人ですので、修理や車検など、様々なご相談等、きめ細かに対応して下さいます。

### JVS Mechanical Engineering

53C Hillside Rd, Glenfield

TEL : 09-441-2587

<http://www.jvs.org.nz>



## NZ大好き.ドットコム

インターネット上のサイトで、“NZ大好き.com”というサイトがあります。  
このサイトは、NZ在住の日本人が気軽に悩みや相談事を話し合える情報交換の場です。

分からないことや困ったこと等あれば、このサイトに投稿すれば、NZ在住の日本人が回答してくれます。

中古品の売買、就労ビザの取得法、お薦めの病院やレストラン等、分からないことは何でもこのサイトにアクセスすれば、そのほとんどが解決するといってもいいでしょう。

→ <http://www.nzdaisuki.com/>

① 右上の“お助け質問箱”をクリックし、

ニュージーランド総合情報/ニュージー大好き!  
Google™カスタム検索 検索 サイトマップ | Q&A  
ニュージーランドをもっと楽しく!  
**nzdaisuki.com** NZ大好きフレンド NZニュース **お助け質問箱** クラシファイド  
ホーム 語学学校 各種留学 住む・就職・起業 生活情報 旅行 トピック NZ関連ブログ集 日本のTV視聴 ショッピング  
海外傷害保険 自動車保険 円送金 ホテル予約 携帯電話レンタル World Wide な友達作り イエローページ  
おすすめ 円送金レート  
ホテル? モーター? バックパッカー?  
8月8日(金)現在  
82.19円/1ドル  
(前日比↓0.54)  
円送金について  
New Zealand NEWS!  
社会 政治・経済 生活 芸能・スポーツ  
ポート: 順当に予選通過  
ファームステイ?  
バックパー?  
バスで旅行?

② 画面右側にある“新規トピックで投稿”ボタンを押すと、質問用のフォームが出てきます。

トピック一覧  
▼トピックタイトル ▼書込数 ▼エリア ▼ジャンル ▼区分 ▼閲覧数  
フルーツケーキ 6 オークランド 食材・食品 教えて! 344  
2008-12-31 13:22:11 Up  
豆腐の角に... 15 クライストチャーチ トラブル 教えて! 2529  
2008-12-31 13:03:38 Up  
NZ在住30代以上の独身女性の職業は? 8 ニュージーランド以外 仕事・雇用 教えて! 1028  
2008-12-31 12:25:41 Up  
ダイニングセットの椅子 3 オークランド 住居・家財・住 教えて! 127  
2008-12-31 11:41:55 ...  
新規トピックで投稿  
メールアドレスの登録  
メニュー  
トピックリスト表示  
最近の記事をまとめて表示  
ID・パスワードを忘れたとき  
投稿記事の変更・削除

## 進化する日本人サービス「ワーホリセンター」

スカイタワーの向かいにあるワーキングホリデー・センターは、ワーキングホリデー等で、英語が話せず、NZ にやって来たばかりの人でも、安心して様々なサービスが使えるよう整備された、総合サービスセンターです。

英語も話せない、全く NZ の事情も分からない、いわゆる「NZ 初心者」向けのサービスが充実しています。

何といっても心強いのは、

- I. 英語ペラペラの日本人スタッフさんが常駐していることと、
- II. そのスタッフさんが代わりに NZ の現地サービス業との折衝をしてくれること。
- III. サービスの内容が、多岐に渡っていることです。

ざっと数えられるだけでも

- ① カウンセリング（NZ 生活に関するお問い合わせ）
  - ② 自動車保険
  - ③ 携帯電話のレンタル
  - ④ インターネット利用
  - ⑤ 無料掲示板閲覧
  - ⑥ 旅行代行
  - ⑦ 日本向け宅配
  - ⑧ 帰国時の荷物の配送
  - ⑧ ホームステイの手配
  - ⑨ ファームステイの手配
- などなど・・・

日本人の、日本人による、日本人のためのサービスなので、親切で、対応も丁寧、しかも欲しかったサービスがズラリ、勢揃いです！

## ワーホリセンター

87 ~ 89 Albert Street, Auckland

Tel : 09-377-9621

※スカイタワー横のビクトリアロードを挟んで向かいです。

チーフカウンセラーの吉羽さんを訪ねると良いです。

<http://www.nz-joho.com/new/index.php>



## NZ 政府機関による移民サポート

NZ はいままでもなく、移民の国で、様々な民族が入り乱れています。

NZ に来て、文化や宗教の違いに戸惑ったり、  
悩みを誰に相談してよいか分からず途方に暮れている移民もいます。

放っておいて、移民が帰国してしまっは大変！  
何といっても NZ の産業は「移民」なのですから。

そこで、NZ 政府は、「CAB Language Link」という、  
電話による移民無料コンサルタント（NZ 政府機関によるアドバイス&情報提供部門）  
を開設しました。

日本人部門、フランス人部門、インド人部門など、開設は 26 の民族部門に渡り、  
ここに電話すると、英語に堪能な各国のスタッフが、事故、保険、医療、学校、  
生活全般に関する相談事を無料で対応してくれます。

ちなみに日本人部門は、サチさんという、  
とても親切な日本オペレーターが対応してくれますので、  
困った時には、是非、電話をして下さい。

相談事は、本当に何でも OK の萬屋（よろずや）相談所です。  
※中には、NZ 料理のレシピを聞いてくる人もいますか・・・

弱点は、電話がつながるのが、週 1 回月曜のみだという事です（困）

その他の曜日は、留守電を入れておくか、メールを送信すれば、  
サチさんの方から後日、電話か返信が来ます。

### CAB Language Link

Tel : 09-625-3090 内線 717

e-mail : language@cab.org.nz

※ 電話による受付は、月曜日 9:00 ~ 16:00 のみですが、e-mail はいつでも OK

## 日本人医師による治療

「自分の主治医に、日本人のお医者様が付いてくれたら、どんなに心強いだらう」と、思うあなたに朗報です。

east MED（イースト・メドウ）という病院に、「ミミ・田中」という日本人ドクターが常駐しています。

どうしても英語がダメという方は、こちらの病院でミミ・田中先生に診てもらうことをお勧めします。日本人独特の丁寧で親切な対応に、安心します。

詳細はこちらです。

病院の住所・電話番号、営業時間、地図、田中先生の写真等が掲載されています。

→ <http://www.eastmed.co.nz/contacts.php#staff>

PS ちなみに east MED（イースト・メドウ）は、オークランドシティから車で10分ぐらいです。

盲腸などの手術等が必要な大きな病気の際には、日本人ドクターが安心できますので、east MED をお勧めします。

east MED DOCTORS

188 St Heliers Bay Rd, St Heliers, Auckland (Tel : 09-585-0188)



～ east MED DOCTORS ～

Copy Right 2010.  
Premier Life [www.nzikou.com] All right reserved.

## NZで利用できる、日本製電気製品一覧

できれば、持ち合わせの日本製電気製品をNZに持って行きたいと思うのが本音です。

日本の電気機器は基本的に変圧器さえあれば、大体のものは大丈夫です。

ただし、テレビと周辺機器のDVDやビデオレコーダーは周波数の関係でNZに持ってきても使用できません。

日本のTVはNTSC対応でNZのPALという信号には対応していないから、観ることはできないということでした。

秋葉原とか日本橋の、免税電化製品専門店に行けば、テレビもビデオも、マルチプルという、世界中どこでも使えるタイプの物が売られていますが、ずいぶん高価です。

結論から言うと、テレビだけは、NZ国内で購入する方がよいと思います。

10年くらいたっても中古品で売れますから、その時、処分したらいいと思います。

それから、これが大切なのですが、

TVがダメということは、録画するデッキ類（DVDやビデオ類）も全部使用不可能！ということですよ。

私が調べた結果、

### ① 冷蔵庫

取り扱い説明書には「日本国内仕様」みたいな事が書かれていますが、問題ありません。

② 洗濯機 これもOKです！

③ 電子レンジ・トースター・保温ポットも大丈夫でした。

④ FAXや電話機も問題なしです。

## 電気機器は日本で買い揃えたい

日本で電気機器と変圧器を買い揃えて、NZに渡航しようと考えているのであれば、こちらのサイトから買い揃えるのがベストです。

おなじみ、「価格.com」です！

→ <http://kakaku.com/>



パソコン等、「どうしてこんなに安いんだろう？」という程、安価で取引されています。間違いなく、家電屋で直接購入するよりも、更に安く購入できます。

## 日本にいる家族との対話Ⅰ

### ○ スカイプ



遠く離れたわが子や家族の安否が気が気ではないという方には、無料でテレビ電話システムを使用できる「スカイプ」というシステムがあります。

こちらです。

→ <http://support.skype.com/intl/ja/>

スカイプの装置（ヘッドホン&マイク、カメラ）は、全国のパソコンショップで売られています。



## 日本にいる家族との対話Ⅱ

日本との電話代は高いので、スカイプを使用するのがベストです。

※スカイプ・・・インターネット経由で、無料でテレビ電話ができるシステム  
顔を見ながら電話することができるので、日本の親族も渡航者も落ち着きます。

スカイプの前に NZ（例えばヤフーメール等）から、日本の親族の携帯電話にメールを打ちます。「これからスカイプしませんか？」と・・・

自分のパソコン上のメルアドに返信が来たら、そのままスカイプを立ち上げ、話をします。

スカイプのシステムは、ヘッドホンとカメラが付属で 3 ～ 4000 円ほどで購入できます。  
近くの家電屋なら、どこでも購入できます。

スカイプのシステムは、以下のサイトにある「ダウンロード」からインストールできます。

→ <http://support.skype.com/intl/ja/>

どうしてもインストールや設定が分からない場合には、電話&出張サポートなどのサービスも利用できます。

→ [http://kandjpc.net/d\\_skype.html](http://kandjpc.net/d_skype.html)

## 格安で日本と電話する方法

日本との通話は、スカイプがベストだと思われませんが、電話で会話したいのであれば、スカイタワーの向かいにある、ワーホリセンターで電話カード（アクセスカード）を購入するといいです。

ワーホリセンターでは、ニュージーランド国内から日本まで1分間10セントという、お得なレートで日本に電話がかけられるプリペイドタイプの国際テレホンカード「アクセス・カード」が販売されています。

詳しくはこちらです。

→ <http://www.nz-joho.com/new/other.php?code=OTH#34>

※日本への電話専用のカード、20 \$ からあり、40 \$ 版も 50 \$ 版もあります。

### 国際テレホンカード

アクセスカードなら1枚のカードで日本、ニュージーランド、オーストラリアの3カ国から世界227カ国へ格安国際電話が可能です。アナウンスも全て日本語案内です。カードはNZ\$10.00、NZ\$20.00とNZ\$50.00分の3種類ご用意しております。VISA、MASTERカードでの残高リチャージもOKです！



axces card  
NZ\$10.00



axces card  
NZ\$20.00



axces card  
NZ\$50.00

カードをもらって、裏面をスクラッチすると、暗証番号が出てきますので、

- ①カードに記載されているセンターに電話します。日本語でガイダンスが流れます。
- ②暗証番号を入力します
- ③日本の電話番号を入力します（0081・・・）

このシステムを利用すれば、格安で日本へ電話を掛けることができます。



また、このシステムの優れたところは、

帰国した際、同じ操作で

日本から NZ へも格安で電話をかけることができます。

### パソコンのセットについて

ノートパソコンは NZ の定格電圧である 240V に対応しているので（※日本は 100V）そのまま NZ のコンセントにつないでもよいですが、デスクトップは、100V と 240V の電圧を変更する必要があります。



写真にあるように、デスクトップの後ろにある赤いスイッチを 100V から 240V に切り替え、NZ の電圧に対応させる必要があります。

私は、これを怠ったために、一瞬でヒューズが飛び、修理費に 100 ドルを要しました！

※修理は、後述するエスクロスで行いました。

### パソコンのトラブルは

NZ ワーキングホリデーセンター内にある、エスクロスをお奨めします。

パソコンの修理はもちろんのこと、ホームページの作成から、英語版のウィンドウズを日本語化する（240 \$）など、パソコンに関するあらゆる相談に乗ってくれます。

**エスクロス** Level 2 Albert Plaza, 87-89 Albert Street, Auckland, New Zealand

（NZ ワーキングホリデーセンター内）

電話 09-377-3698（月～金曜 10:00 ～ 18:00） ※大崎さんという方が対応してくれます。

Website : <http://pc.scross.co.nz>

Email : [pc@scross.co.nz](mailto:pc@scross.co.nz)

### 翻訳ソフトについて

英語に自信のない人は、翻訳ソフトをノートパソコンなどにインストールして、自分の意志を自由に翻訳できる状態にした方がいいでしょう。

電子辞書は持ち運びがコンパクトでお薦めですが、私は、パナソニックモバイルパソコン（レッツノート）に翻訳ソフトを入インストールして対応しています。

私の使っている翻訳ソフトは、「速攻！翻訳マスター4」です。

別に、これでなくてもいいのですが、私は、これにしました。

→ [http://www.justsystems.com/jp/software/dt/transmas4/?w=onlc\\_t2006](http://www.justsystems.com/jp/software/dt/transmas4/?w=onlc_t2006)

## NZ 学校・登校の様子

こちらの学校は、9時から始まります。  
朝は、ゆっくりです。

各家庭のお母さん方は、健康のためも兼ねて、  
子どもと一緒に学校まで歩いていく方が多いです。

登校の様子ですが、映画「バック・トゥー・ザ・フュー  
チャー」のように、スケボーやキックボードで登校する  
子どもが多いです。



学校には、スケボー置き場もあり、昼休みには、皆でスケボーやバスケットに興じています。

子どもの服もカラフルなものが多く、

ピアスを付けてきたり、スリッパで登校したりと、  
身だしなみも自由です。

先生方もジーパンや半ズボン、スリッパで出勤してきま  
す！！

NZ 人は、本当に外見や服装にこだわらない民族です。



日本の学校に比べて、時間や服装、授業内容に規制が少なく、  
集団行動で学校生活を送るというよりも、個々の個性を伸ばしていくような授業が展開さ  
れています。

生徒ものんびり& ゆったりしています。  
だから、先生方や生徒の言動からは、余裕が感じられます。

それぞれの国に、それぞれの考え方があり、日本の教育を悪く言うわけではありませんが、

nz ののんびりした教育現場を見るにつれ、毎日が分刻みで、忙しすぎる日本の子ども達  
や権限もなく、責任ばかり押しつけられ、マスコミやモニターペアレンツに叩かれてば  
かりいる、日本の先生達は大変だとつくづく思います。

## 学校から帰ったら？

学校は大体、3時に終わります。

3時半くらいから、テレビの第2チャンネルで子ども番組が放映されます。  
子供用のアニメーションは、朝7時からと3時半からの2部構成です。

日本でもお馴染みのポケモンやスポンジ・ボブが放映されています。

家に帰った子ども達は、テレビを見るか、公園に行って、スケボーやキックボード、  
BMX（自転車）を楽しんでいます。

サーフィンに行く、中高校生もいます。

各公園には、スケボー場が設置されているので、遊ぶ場所には事欠きません。

時間が豊富にある国ですので、お金を使わずに遊ぶための施設が沢山あり、  
3時以降はあちこちで子ども達が遊んでいます。

遊びの内容こそ違いますが、

我々、昭和時代の子ども達と一緒に外で日が暮れるまで遊んでいます。

テレビゲームよりも、外で体を動かして遊んでいる方が好きな子ども達が多いです。



～ ブラウンズ・ベイのスケボー場～

## 英語の方が楽？ NZで生活する日本人小学生事情

保護者の仕事等の事情でNZにやってきた子ども達は、幸か不幸か日本人学校がないため、皆、英語がペラペラになってしまいます。

子どもは吸収が速いので、何年も生活していると、英語で話す方が楽になってしまいます。

息子が日本人会の友人の誕生パーティーに呼ばれていきましたが、パーティーの後、外で子ども同士で遊ぶ姿を見てびっくりしました。

日本人同士なのに、英語で会話をしていたのです。

## NZでの日本人コミュニティー

ノースショアの日本人コミュニティー  
ノースショア ジャパニーズ・プレイグループ  
→ [http://www.linknz.com/tenant\\_njpl134.html](http://www.linknz.com/tenant_njpl134.html)

ここは、日本人のお母さん達が設立したコミュニティーで、日本語の補習を行っています。



子どもが小さい頃から英語圏で暮らしていると、日本語を全く話せなくなってしまう可能性がありますので（特に日本語の読み書き）、

子どもに日本語の簡単な学習をさせるために、金曜日の午後4時から、無料の日本語学習教室を行っています。

また、日本人妻がお互いに話題を共有しあえる、集いの場を提供するコミュニティーでもあります。

学習教室の後は、日本から空輸した食べ物の販売会等もあり、日本製のインスタントラーメンやふりかけ、マグロの切り身などが売られています。

子ども達は、学習教室の後、元気に外で遊んでいます。



## オークランド生活便利電話帳

### 《緊急》

警察・消防・救急 TEL : 111

### 《日本政府関係》

日本国総領事館 TEL:09-303-4106

### 《移民局》

オークランドセントラル (City) ヘンダーソン (East) マヌカウ (South) の3箇所  
総合案内 TEL:09-914-4100

### 《電車・バス・フェリー》

オークランド地域総合発着案内 TEL:09-366-6400

### 《電話》

Telecom カスタマーセンター TEL:123

番号案内 TEL:018

電話の故障 TEL:120

### 《水道》

オークランドセントラル (City) TEL:0800-367-928

ノースショア (North) TEL:09-486-8600

マヌカウ (South) TEL:09-262-5499

ワイタケレ (East) TEL:09-835-0290

### 《電気》《ガス》

Contact Energy TEL:0800-692-668

Genesis Energy TEL:0800-300-400

MercuryEnergy TEL:0800-10-1810

### 《苦情》

騒音・悪臭 Auckland City Council TEL : 09-379-2020

環境汚染 Auckland Regional Council TEL : 09-366-2000

### 《その他》

オークランド日本人会 <http://www.jsa.org.nz>

## あとがき

NZ 移住マニュアル、いかがだったでしょうか？

確かに、慣れ親しんだ日本から移住するのは、大変な勇気がいりますが、  
私たちは、NZに来て、本当に良かったと思っています。

ここには、本当の豊かさと時間、空間、余裕があり、

毎日がゆっくり過ぎていきます。

気がつくと、子どもも英語が話せるようになっていました。

※これには一番驚きました。

日本にいても派遣社員としてこき使われ、一生を働きつめで終わるよりも、  
世界共通語である「英語」をマスターさせてやる事で、子どものビジネスチャンスも広がる  
のではないかと思います。

まだ、数年はこちらで頑張るつもりですが、

もしかしたら、ずっとこっちにいるかもしれません。

NZに移住してきたら、真っ先に声をかけて下さい。

あなたの素敵な海外生活をサポートさせていただきます。

それでは・・・

三浦佳子

# Road to NZ



# FIN

NZ 移住&生活マニュアル本編（150 ページ+特典）を見たい方はこちらです。

NZ 行こうドットコム  
<http://www.nzikou.com/>

Copy Right 2010.  
Premier Life [www.nzikou.com] All right reserved.